

# 2016年3月期決算説明会

株式会社 安永

証券コード: 7271

2016年6月2日



# 将来見通しに関する注意事項

本資料に記述している業績予想および将来予測は現時点で入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれます。

その為、様々な要因によって、実際の業績が記述する将来の見通しと異なる結果となる可能性があることをご承知おき願います。

したがって、投資に関する最終決定につきましては上記を踏まえ、投資家の皆様ご自身のご判断で行われるようお願い致します。

本資料に掲載する情報に全面的に依拠して投資判断を下されることはお控えくださいますようお願い致します。

- **トピックス**
- 16年3月期決算概要
- 17年3月期業績予想
- 第4次中期経営計画



## 新事業の創出（R&D本部の取り組み）

### 【熱電発電素子開発】

当社従来比2.5倍（400℃）の発電効率を持つ熱電発電素子を試作開発しました。排ガス熱源を利用した発電システムへの利用を期待しています。



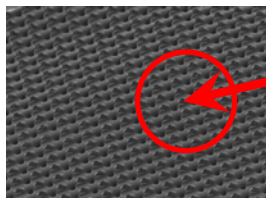
熱電発電素子



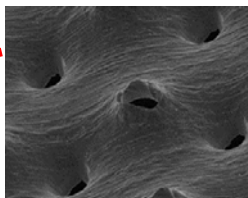
評価用モジュール

### 【バッテリー関連研究開発】

微細金型技術の応用製品として、蓄電デバイス向け微細穴明き集電箔を試作開発しました。蓄電デバイスのコスト低減に貢献できると期待しています。



微細穴明き集電箔



拡大画像



評価用セル

## 新型 外観検査装置 TD210発売

太陽電池ウェハ用新型外観検査装置「TD210」を6月から販売開始。  
新開発M.A.I(マルチアングル照明検査)搭載でより高精度な検査を実現。  
5月に中国上海で開催された「PV Power EXPO」に出展。



### 【新型外観検査装置 TD210の特長】

- ✓ 太陽電池ウェハの自動外観検査を高歩留りで実現
- ✓ 高精度2D寸法測定&欠陥検査 (M.A.I)
- ✓ 高精度レーザ3D検査 (厚み、TTV、反り、うねり)
- ✓ 自動調光機能：良品ばらつきによる過検出を排除
- ✓ 必要な機能を組み込み、最適な検査自動化が可能

- トピックス
- **16年3月期決算概要**
- 17年3月期業績予想
- 第4次中期経営計画





ワイヤソー



検査測定装置



工作機械



エアーポンプ



ディスクポータ



コンロッド



シリンダーヘッド



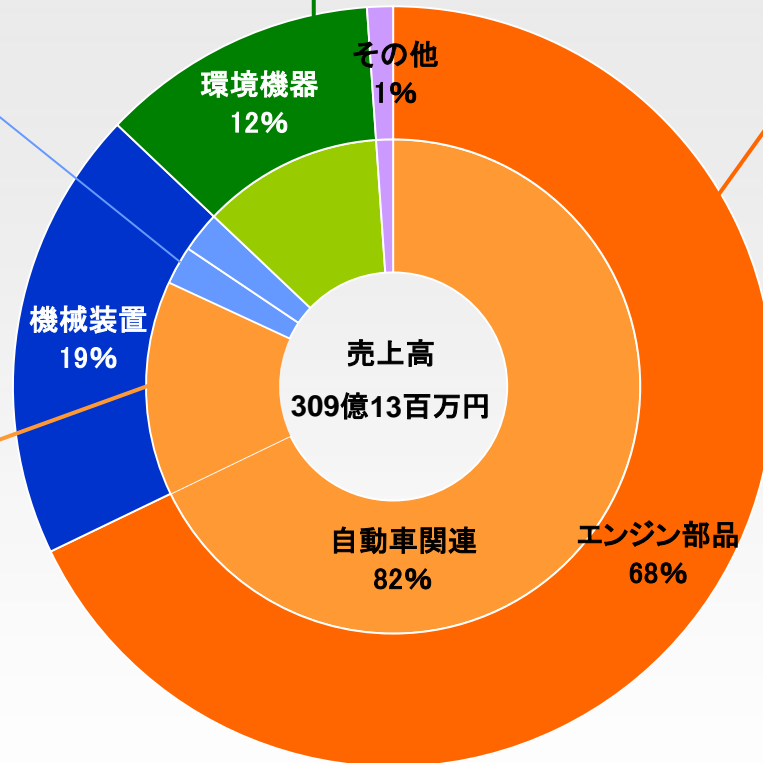
シリンダーブロック



カムシャフト



クランクシャフト



# 16年3月期決算トピックス

エンジン部品の米国向け輸出の増加やタイ子会社が稼働開始したこと、また原価低減活動等の取組みにより、増収・営業増益となったものの、海外子会社において為替評価損や固定資産の減損損失を計上したことにより、経常利益、当期純利益は赤字となった。

(単位:百万円)

	15年3月期 実績	16年3月期			対前年 増減額
		上期	下期	通期	
売上高	29,605	15,359	15,553	30,913	1,307
営業利益	150	180	192	373	223
(対売上比)	(0.5%)	(1.2%)	(1.2%)	(1.2%)	
経常利益	339	32	△ 190	△ 158	△ 497
(対売上比)	(1.1%)	(0.2%)	(△1.2%)	(△0.5%)	
当期純利益	86	△ 96	△ 518	△ 614	△ 701
(対売上比)	(0.3%)	(△0.6%)	(△3.3%)	(△2.0%)	



# 決算概要：セグメント別売上高・営業利益（連結）

【前年同期対比】

売上高の（ ）は構成比%

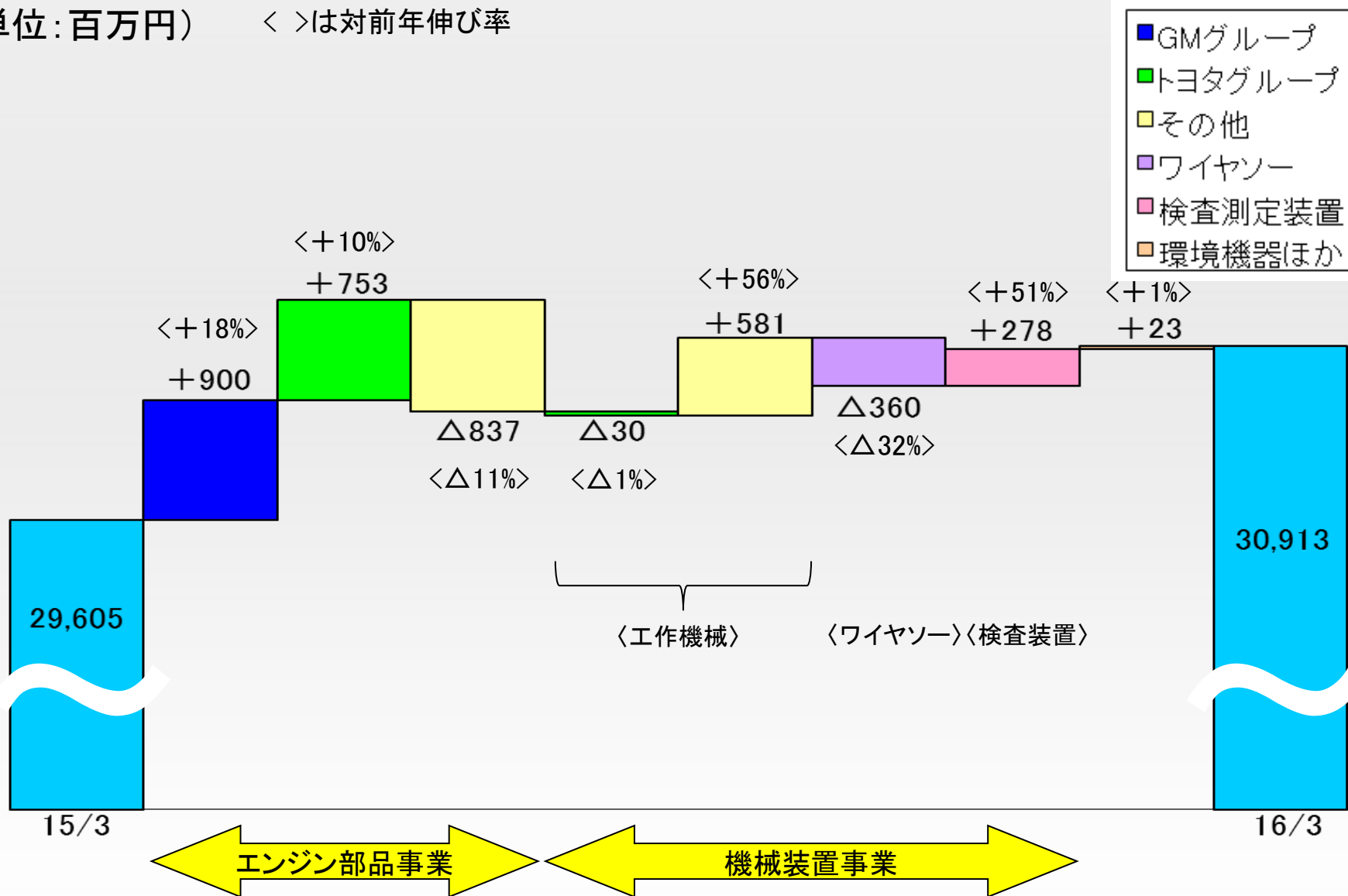
営業利益の（ ）は営業利益率%

(単位：百万円)

	売上高			営業利益			売上増減内訳	
	15年3月期	16年3月期	対前年増減	15年3月期	16年3月期	対前年増減		
エンジン部品	20,159 (68.1%)	20,975 (67.9%)	816 (4.0%)	△ 185 (△0.9%)	172 (0.8%)	358 -	GMグループ トヨタグループ 三菱重工 三菱自工	+ 9.0億 + 7.5億 △ 3.4億 △ 2.4億
機械装置	5,474 (18.5%)	5,943 (19.2%)	469 (8.6%)	127 (2.3%)	△ 155 (△2.6%)	△ 282 -	工作機械 ワイヤソー 検査測定装置	+5.5億 △3.6億 +2.7億
環境機器	3,595 (12.2%)	3,653 (11.8%)	57 (1.6%)	216 (6.0%)	297 (8.1%)	80 (37.1%)	エアーポンプ ディスポーザ	+1.0億 △0.5億
その他・調整	375	340	△ 35	△ 8	59	67		
合計	29,605 (100.0%)	30,913 (100.0%)	1,307 (4.4%)	150 (0.5%)	373 (1.2%)	223 (148.7%)		

# 決算概要：連結売上高増減要因（得意先別）

（単位：百万円） < >は対前年伸び率



# 決算概要：損益計算書の状況（連結）



【前年同期対比】

(単位：百万円)

	2015年3月期		2016年3月期		増減率(%)	増減額
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)		
売上高	29,605	100.0%	30,913	100.0%	4.4%	1,307
売上原価	25,914	87.5%	27,240	88.1%	5.1%	1,326
販管費	3,540	12.0%	3,298	10.7%	△6.8%	△ 241
営業利益	150	0.5%	373	1.2%	148.7%	223
営業外収益	489	1.7%	82	0.3%	△83.1%	△ 406
内、為替差益	366	1.2%	—	—	—	△ 366
営業外費用	300	1.0%	614	2.0%	104.7%	314
内、支払利息	140	0.5%	156	0.5%	11.2%	15
内、為替差損	—	—	372	1.2%	—	372
経常利益	339	1.1%	△ 158	△0.5%	—	△ 497
税前当期純利益	320	1.1%	△ 296	△1.0%	—	△ 617
法人税等合計	233	0.8%	317	1.0%	35.8%	83
内、法人税等調整額	44	0.2%	114	0.4%	155.7%	69
当期純利益	86	0.3%	△ 614	△2.0%	—	△ 701

# 決算概要：貸借対照表の状況（連結）

## 【前年同期対比】

（単位：百万円）

	2015年3月期	2016年3月期	増減額
流動資産	14,707	16,915	2,207
固定資産	17,577	16,053	△ 1,524
資産合計	32,285	32,968	683
流動負債	11,858	13,344	1,485
固定負債	8,510	9,392	882
純資産	11,917	10,232	△ 1,684
負債・純資産合計	32,285	32,968	683
有利子負債	13,536	14,765	1,227
自己資本比率	36.9%	31.0%	△ 5.9P
一株当たり純資産	996.10円	855.27円	△ 140.83円

主たる増減	
流動資産	
仕掛品	+1,149百万円
現金及び預金	+861百万円
固定資産	
有形固定資産	△955百万円
流動負債	
買掛金等	+656百万円
固定負債	
長期借入金	+1,038百万円
社債	△220百万円
純資産	
利益剰余金	△722百万円
退職給付に係る調整累計額	△502百万円
為替換算調整勘定	△338百万円

# 決算概要：キャッシュ・フローの状況（連結）

【前年同期対比】

(単位：百万円)

	2015年3月期	2016年3月期	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	940	1,395	454
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 3,179	△ 1,885	1,293
財務活動による キャッシュ・フロー	1,026	1,315	288
現金及び現金同 等物の増減額	△ 1,136	742	1,879
現金及び現金同 等物の期末残高	3,104	3,846	742

## POINT (主たる要因)

営業活動によるCF	減価償却費	+ 1,501
	仕入債務の増加	+ 705
	前受金の増加	+ 253
	たな卸資産の増加	△ 1,277
投資活動によるCF	有形固定資産の取得	△ 1,787
財務活動によるCF	有利子負債の増加	+ 1,422

# 有利子負債の状況（連結）

（単位：百万円）

	15年3月末	16年3月末
有利子負債（D）	13,536	14,765
現金及び預金	3,217	4,079
ネット有利子負債（D）	10,319	10,686
純資産（E）	11,917	10,232
D/E レシオ	1.14倍	1.44倍
ネット D/E レシオ	0.87倍	1.04倍

- トピックス
- 16年3月期決算概要
- **17年3月期業績予想**
- 第4次中期経営計画



# 業績予想：2017年3月期売上高・利益の予想（連結）



（単位：百万円）

	16年3月期	17年3月期(予想)			対前年 増減率
	通期	上期	下期	通期	
売上高	30,913	16,300	16,500	32,800	6.1%
営業利益	373	350	400	750	100.7%
(対売上比)	(1.2%)	(2.1%)	(2.4%)	(2.3%)	
経常利益	△ 158	120	330	450	—
(対売上比)	(△0.5%)	(0.7%)	(2.0%)	(1.4%)	
当期純利益	△ 614	20	80	100	—
(対売上比)	(△2.0%)	(0.1%)	(0.5%)	(0.3%)	



# 業績予想：セグメント別売上高・利益の予想（連結）

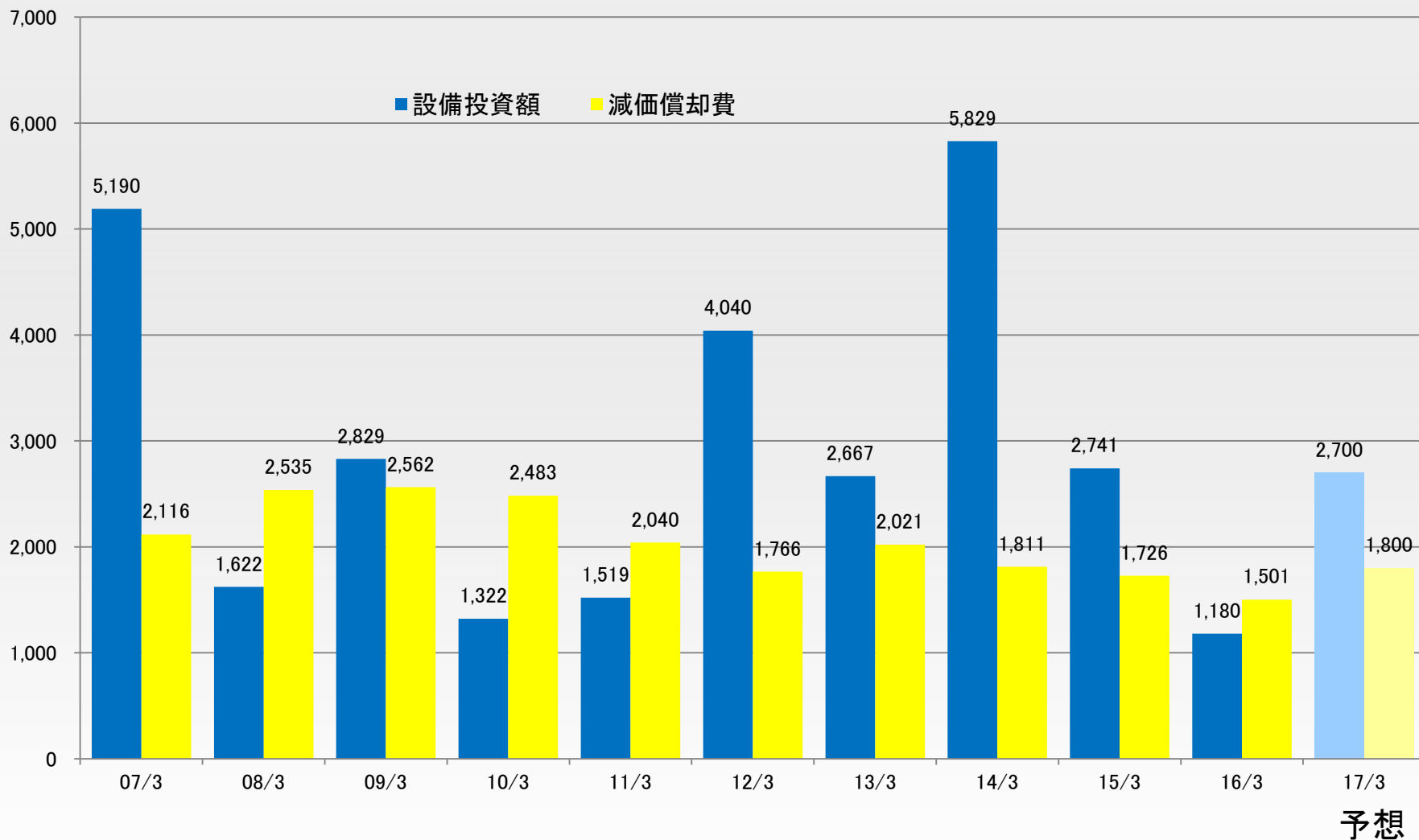


売上高の（ ）は構成比％ 営業利益の（ ）は営業利益率％

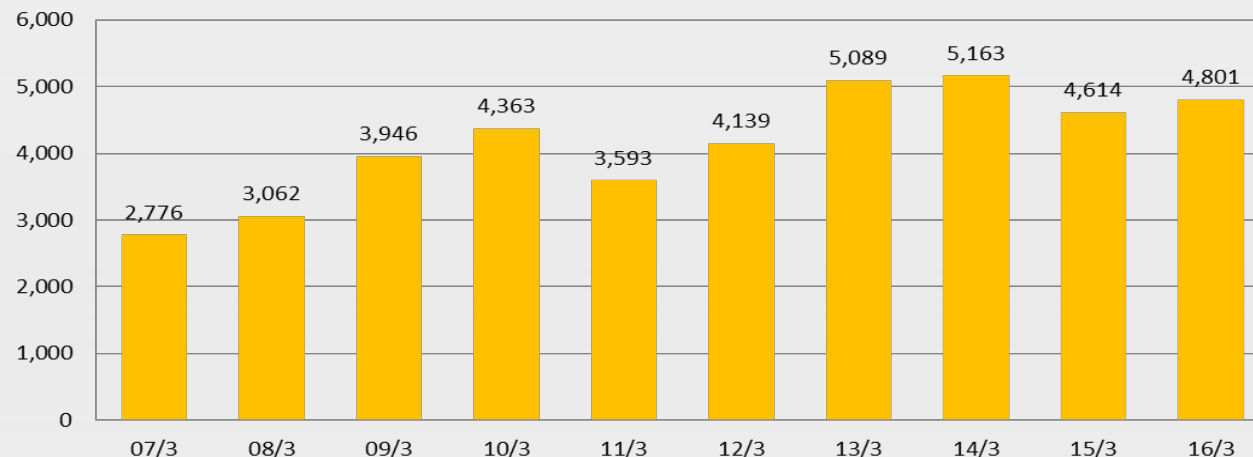
(単位:百万円)	売上高				営業利益			
	16年3月期 実績	17年3月期 予想			16年3月期 実績	17年3月期 予想		
		上期	下期	通期		上期	下期	通期
エンジン部品	20,975 (67.9%)	10,100 (62.0%)	10,900 (66.1%)	21,000 (64.0%)	172 (0.8%)	△ 50 (△0.5%)	220 (2.0%)	170 (0.8%)
機械装置	5,943 (19.2%)	4,150 (25.5%)	3,850 (23.3%)	8,000 (24.4%)	△ 155 (△2.6%)	210 (5.1%)	140 (3.6%)	350 (4.4%)
環境機器	3,653 (11.8%)	1,900 (11.7%)	1,600 (9.7%)	3,500 (10.7%)	297 (8.1%)	180 (9.5%)	30 (1.9%)	210 (6.0%)
その他・調整	340	150	150	300	59	10	10	20
合計	30,913 (100.0%)	16,300 (100.0%)	16,500 (100.0%)	32,800 (100.0%)	373 (1.2%)	350 (2.1%)	400 (2.4%)	750 (2.3%)

# 設備投資・減価償却費の推移

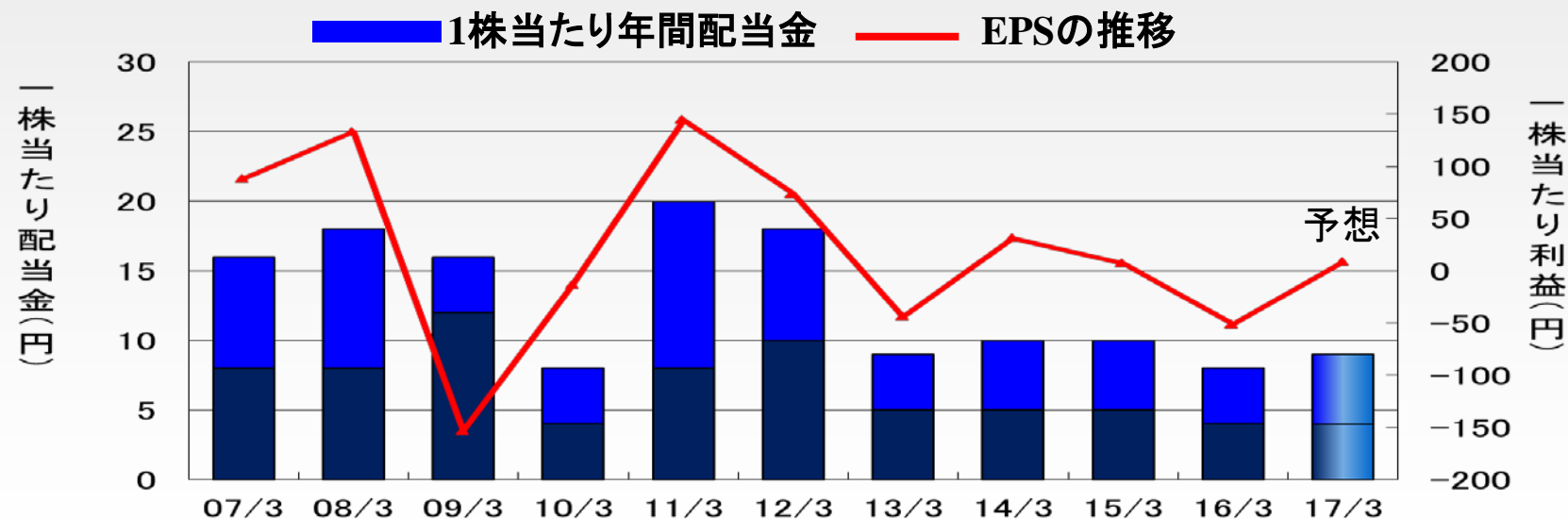
(単位:百万円)



## <株主数の推移>



## <配当金の推移>



- トピックス
- 16年3月期決算概要
- 17年3月期業績予想
- **第4次中期経営計画**



## 基本戦略

### 1. グローバルニッチNo.1

- ◇各事業体の取組み ⇒ 地域No.1、顧客No.1、製品No.1の達成／強化
- ◇グローバル地域の拡充 ⇒ 韓国工場・タイ工場の安定成長  
インドネシア工場の拡充  
メキシコ工場の円滑な立ち上げ

### 2. 新事業の創出

- ◇『二次電池用穴あき突起集電箔打・塗工・乾燥装置』  
『シリサイド系熱電変換材料・発電素子』の事業化を目指す

### 3. 財務体質の強化

- ◇財務体質の強化継続

## 事業戦略

### エンジン部品事業

◇自動車メーカーの生産体制に合わせた、生産拠点の体制強化を進める

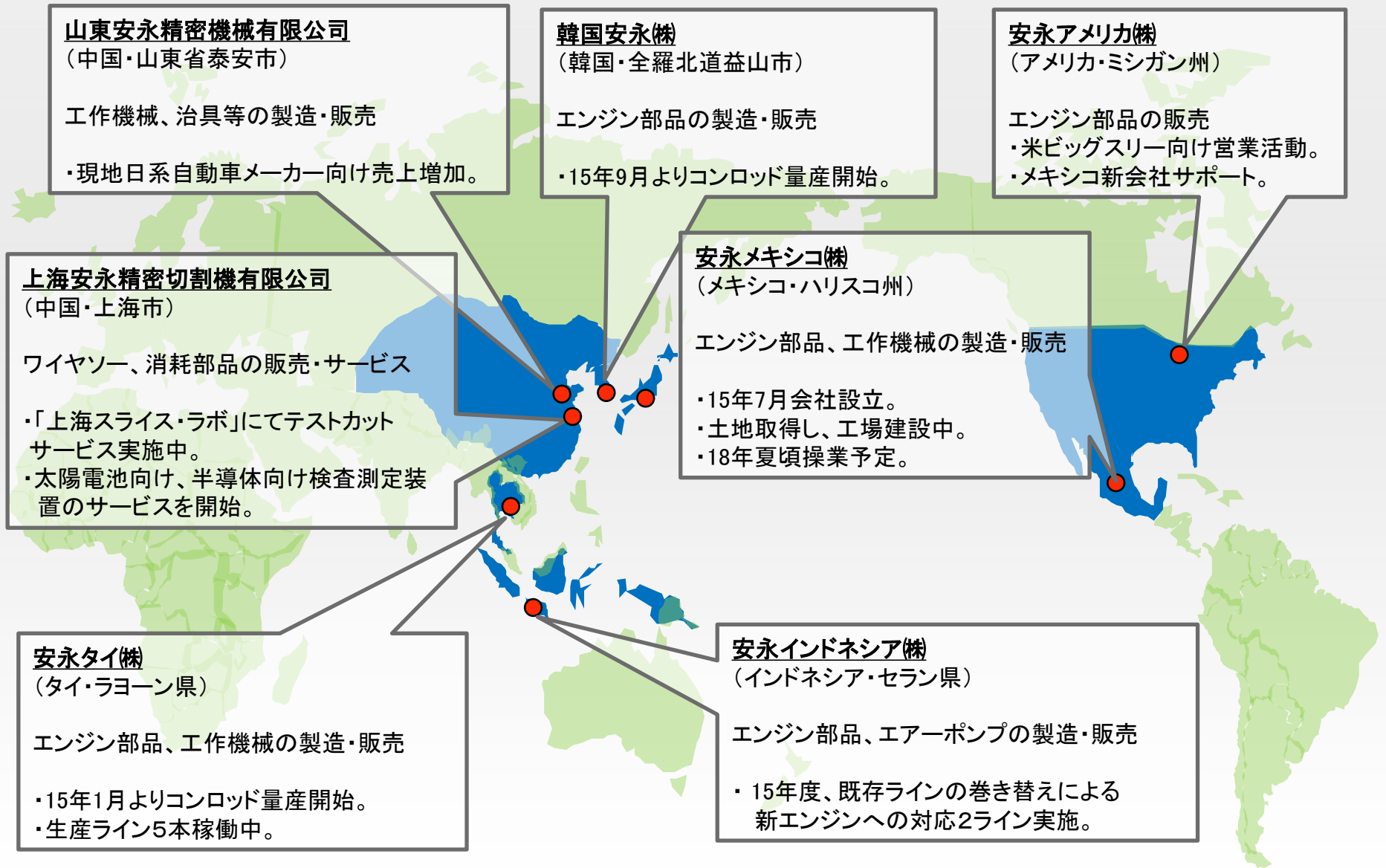
### 機械装置事業

◇成長市場を見極め、ニーズを先取りしたモノづくり技術を創出し世界的な競争力を持った装置を開発する


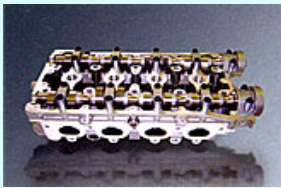
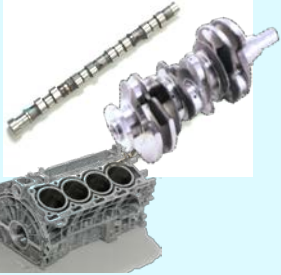
### 環境機器事業

◇「浄化槽用エアーポンプ」「燃料電池用エアーポンプ」「ディスポーザ」の3本柱で、業界No.1の地位を固めるべく、更なるシェア向上を目指す

# 第4次中期経営計画 海外拠点の近況



# エンジン部品の新規商談状況

製品名		17年3月期	18年3月期	19年3月期	20年3月期
コンロッド 	国内		●		
	海外	● ● ●	● ● ●	● ● ● ● ●	● ● ●
シリンダーヘッド 	国内		●		
	海外			●	
その他 	国内				●
	海外				●



# 2016年度(最終年度) 連結業績目標値

(単位:百万円)	売上高	営業利益	営業利益率
エンジン部品事業	21,900	170	0.8%
機械装置事業	7,660	430	5.6%
環境機器事業ほか	4,440	420	9.5%
合計	34,000	1,020	3.0%

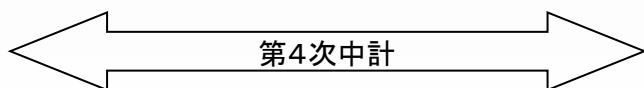
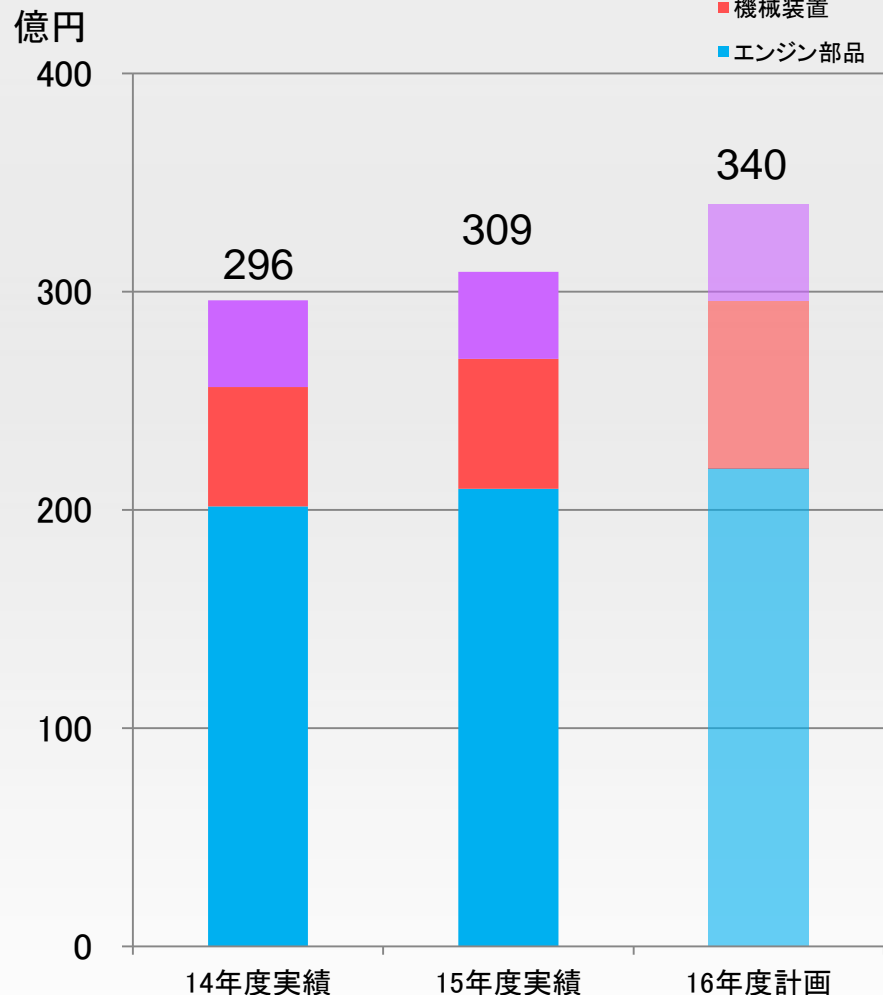
2016年度の業績予想につきましては、現状の受注動向等を踏まえた予想となっておりますが、上記の第4次中期経営計画の目標達成に向けて、鋭意努力してまいります。

## 連結財務ベースの長期的な数値目標

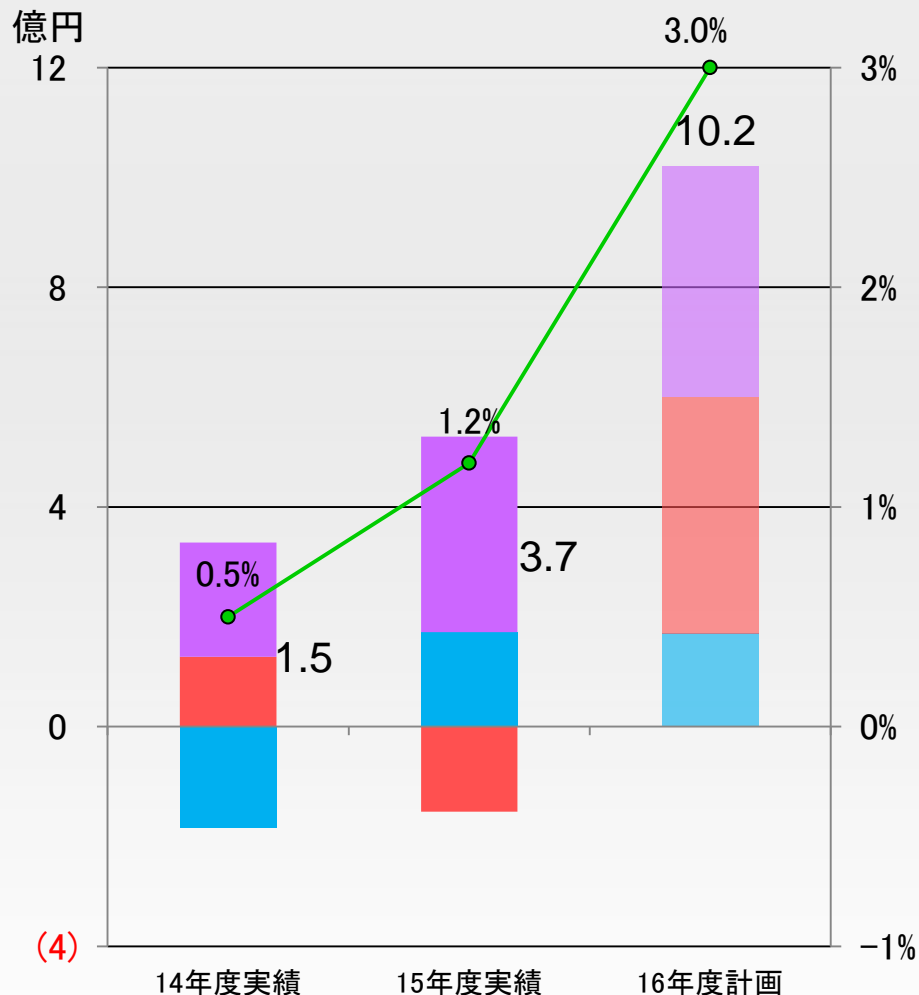
自己資本比率	ROE (自己資本利益率)
40%以上	継続的に10%以上

連結売上高の推移

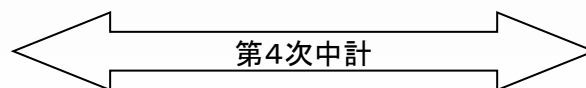
- 環境機器他
- 機械装置
- エンジン部品



連結営業利益と営業利益率の推移



(4)

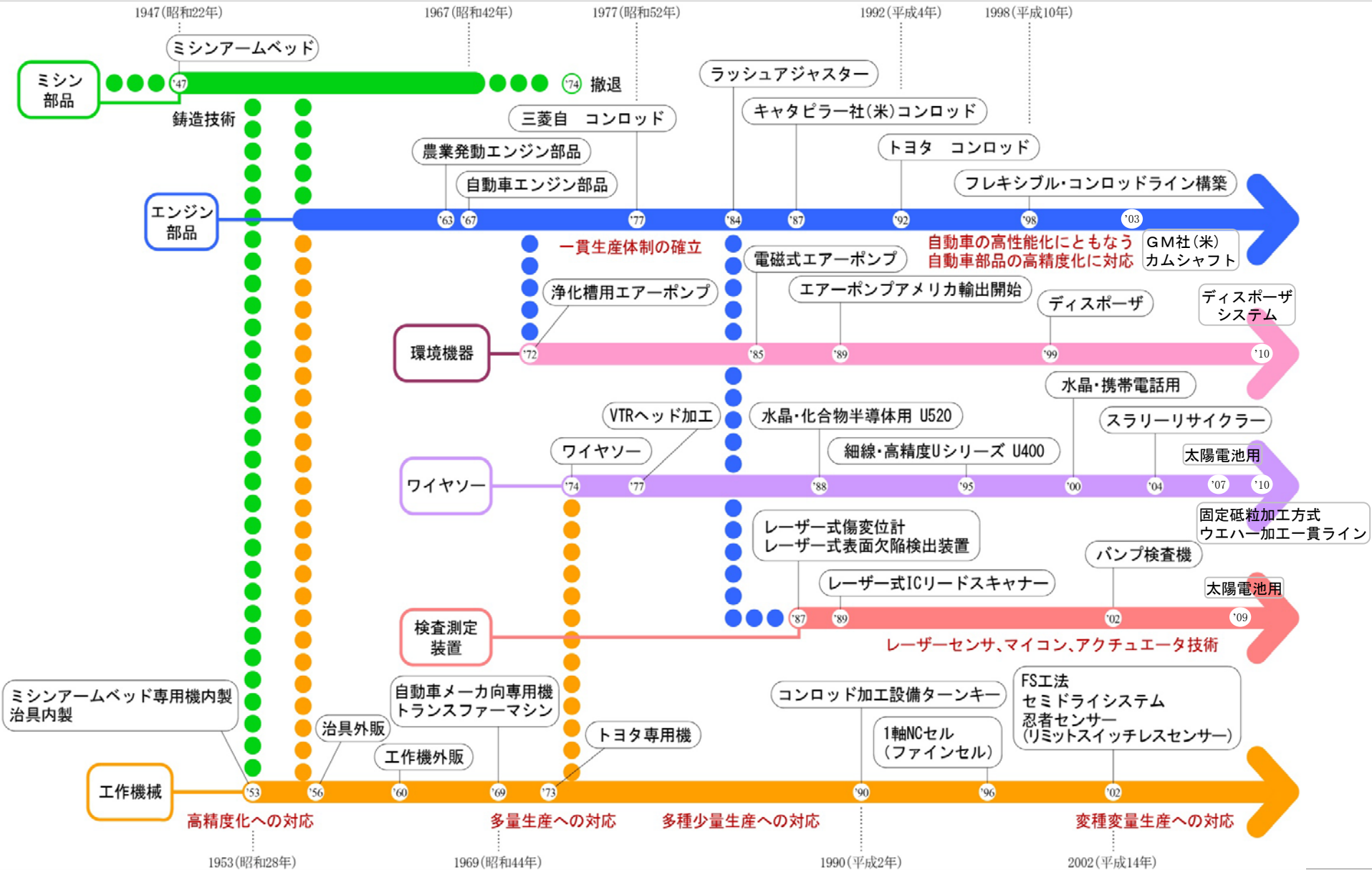


- **設 立** : 1949年9月(昭和24年)
- **代表者** : 代表取締役社長 安永 暁俊
- **上 場** : 東京証券取引所 第一部 (2014年6月12日)  
1単元の株式数 100株
- **事業内容** : エンジン部品、機械装置(工作機械、ワイヤソー、検査測定装置)、  
エアーポンプ及びディスプレイシステムの製造・販売
- **資本金** : 21億42百万円 <2016年3月期>
- **売上高** : 309億13百万円(連結) <2016年3月期>
- **従業員** : 1,668名(連結) <2016年3月31日現在>
- **事業所** : 本社(三重県伊賀市)  
工場(伊賀市4、名張市1)
- **関連会社** : 国内 4社、海外 7社(6ヶ国)



# 製品技術の歩み

## 補足資料②



# 事業領域 エンジン部品事業



## 補足資料③

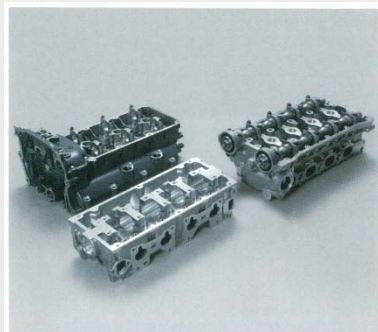
(%)はエンジン部品  
製品別売上比率

【15年3月→16年3月】



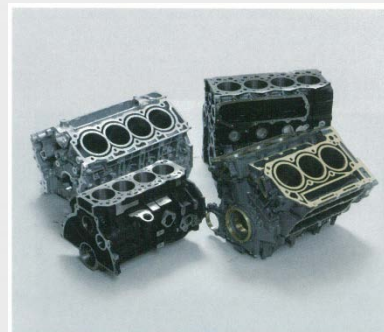
01 コネクティングロッド Connecting rod (47→48%)

トヨタ、ダイハツ、三菱自、三菱ふそう、  
FCA



02 シリンダーヘッド Cylinder head (11→12%)

韓国GM、スズキ、三菱重工、クボタ、  
トヨタ



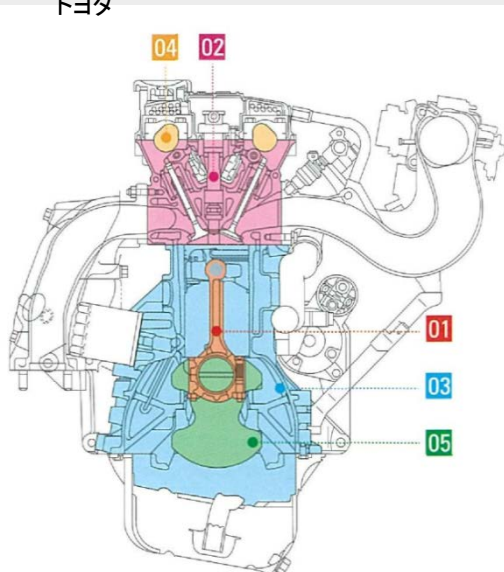
03 シリンダーブロック Cylinder block (16→14%)

ダイハツ、三菱重工、スズキ



04 カムシャフト Camshaft (15→18%)

GMPT、GMHOLDEN



その他(9→7%)



05 クランクシャフト Crankshaft (2→1%)

韓国GM

自動車メーカーが  
内製している  
エンジン部品を  
当社が生産

エンジン内部に組み込まれる  
部品の生産・加工

エンジンの性能、  
機能を熟知

高品質、低コストの  
製品づくりを提案

### 【主要取引先】

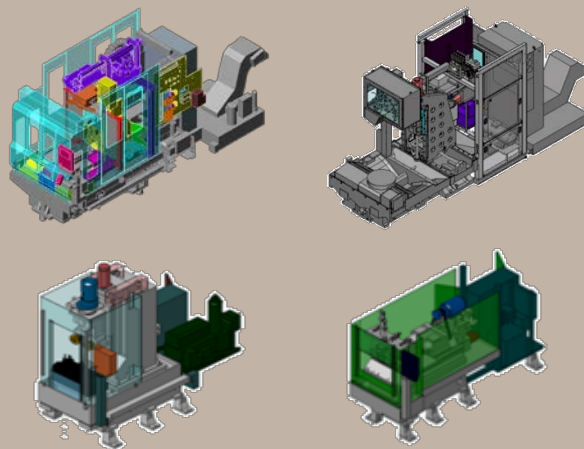
トヨタ自動車、GMPT、韓国GM、  
三菱自動車工業、ダイハツ工業、  
三菱重工業、三菱ふそうトラック・バス、  
クボタ、FCA、スズキ、  
GM HOLDEN等

専用機の  
豊富な経験から  
標準機を開発

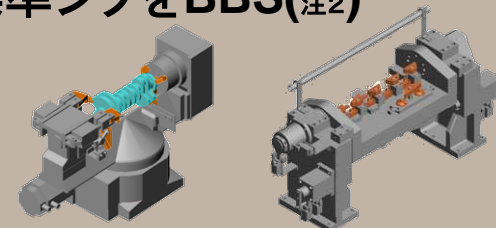
部品事業の  
生技ノウハウを  
開発、設計に  
盛り込む

### セルマシン(注1)で多くの実績

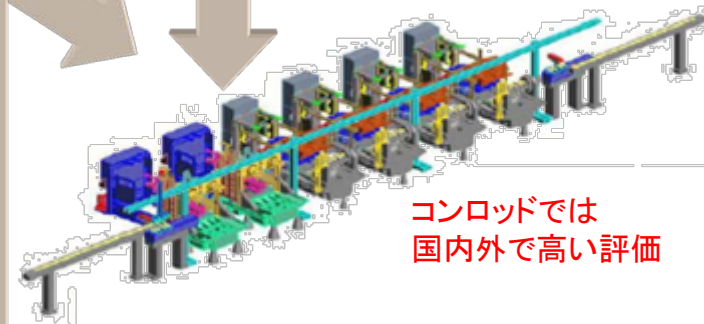
コンロッド、軸物(カムシャフト、  
クランクシャフト)加工設備



### 標準ジグをBBS(注2)



専用機で培ったノウハウを標準化



コンロッドでは  
国内外で高い評価

### ターンキー受注に対応可能

低コスト、高品質の製品づくりを提案

注1: 工程特化型マシニングセンター

注2: Build Block Systemでセルマシンに組付け

#### 【主要取引先】

国内自動車メーカー及び関連メーカー(トヨタ系、日産系など)  
海外自動車メーカー(中国、韓国など)

# 売上高・利益の推移（連結）

補足資料⑤

